

## 平成 30 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	福祉マインドの育成を図り、手話の普及を進める。 生徒の主体的・協働的な学習活動を進めるとともに、教育の質と量の向上を図る。	福祉マインドの育成に向けて、総合的な学習の時間の内容を充実させる。 教育の「質の確保・向上」を図るとともに新学習指導要領について研究を進める。	総合的な学習の時間において、福祉マインドに向けた実践や講話等を行う。 行事の実施時期等の見直しにより、生徒が集中して学習に取り組むことのできる期間を確保するとともに、授業の質を向上させる。 生徒の自習スペースを確保し、恒常的に学習に取り組むことのできる環境を作る。 新学習指導要領に係る研修会を実施し、策定方針を検討する。	生徒アンケート等の結果、生徒の変容が見られたか。 生徒による授業評価が前年度に比べ向上したか。 生徒の自習スペースを確保することができたか。また、そのスペースを活用できたか。 新学習指導要領の策定方針を作ることができたか。
2	生徒指導・ 支援	豊かな人間性と社会性を育み、一人ひとりに応じたきめ細かな支援をする。	適切な状況判断のできる社会性を身に付けた生徒の育成を進める。	・統一した指導を継続的に行うことにより、生徒の身だしなみ・マナー・社会的なルールに対する意識を向上させ、基本的な生活態度を身に付けさせる。 ・いじめを許さない環境づくりを推進する。	・全職員で統一して指導できたか。 ・生徒の身だしなみ・登下校時のマナーが改善したか。また、遅刻者が前年度に比べて減少したか。 ・いじめ事案に対して、早期発見できたか。また、迅速かつ適切に対応することができたか。
3	進路指導・ 支援	生徒が自らの意志と責任で、よりよい進路選択ができるよう、進路指導計画の充実を図る。	生徒が主体的に進路を決定する能力・態度の育成を図る。	・生徒が意欲的に外部試験等でのキャリアアップをめざすような効果的な指導を展開する。 ・外部試験の振り返り及び教員研修を行い、学校全体で効果的なキャリア教育及び進路指導に取り組む。	・意欲的に外部試験等でのキャリアアップをめざすような生徒が増えたか。 ・外部試験の振り返り及び教員研修を行い、学校全体で効果的なキャリア教育及び進路指導に取り組めたか。
4	地域等との 協働	地域との連携・協働を推進し、地域から愛される学校づくりを進める。	教職員・生徒の防災意識を高めるとともに、地域と連携した防災体制を構築する。	・防災意識を高めるために防災委員にポスターを作成させる。 ・災害図上訓練や地域と連携した防災訓練の参加者を昨年度より増やす。	・防災委員にポスターを作成させたか。 ・災害図上訓練や地域と連携した防災訓練の参加者が昨年度より増えたか。
5	学校管理 学校運営	生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。	快適な学習環境を確保するとともに、地域協働による学校運営を進める。	・美化委員にポスターを作成させ、ゴミの分別やポイ捨て禁止を呼びかける。 ・学校運営協議会での意見交換を活発化させる。	・美化委員にポスターを作成させたか。 ・学校運営協議会での意見交換を活発に行えたか。